活動名：FC アーレ第 16 期生卒団式
日 程：令和４年３月 26 日（土）
会 場：福島空港公園会議室
参 加：６年生 18 人 （不参加３名）、保護者
帯 同：設楽・熊坂・佐藤・渡辺・大森・遠藤・貝和・真聖コーチ
　　佐久間 元コーチ
報 告：設楽

アーレ杯フットサルフェスティバルの閉会後、空港公園会議室に集まり、卒団生、保護者、コーチと共に、第 16 期生卒団生 21 名を送る会として卒団式を開催しました。

１　開会のことば
２　代表祝辞
３　卒団記念映像試写会
４　コーチ祝辞
５　卒団記念品贈呈
　　卒団記念メダル・卒団記念映像 DVD
６　卒団生あいさつ
７　卒団生からアーレへ記念品贈呈
　　ミニゴール２セット・GK グローブ２セット・コーチ感謝色紙
８　記念撮影
９　閉会のことば

FC アーレ第 16 期卒団生の皆さん、卒団おめでとうございます。

そして、今日はアーレの選手として最後となる元気なプレーを見せてくれて嬉しかったです。

昨年度に続き、今年度もコロナ禍で大会が中止され、練習会もお休みする期間もあり、みんなが願っていた六年生最後の活動が思うようにできませんでした。

そのような環境の中でも、最後までアーレの選手としてクラブを辞めること無く、続けてくれたことにコーチ達は嬉しく思います。

今年度の卒団生は 21 名です。

途中、10 名以上の仲間が家庭の都合により辞めていきましたが、新しく入団してくれた子も多く、この学年は 30 数名の同学年の子たちが関わった、今までで一番多い学年でした。

みんなが中学校で、勉強以外にどんなことをしていくのか気になりますが、先日の練習中に質問してみました。

「サッカーを続けます！」、「他の部活をしようと思っています！」など様々な回答でし

たが、コーチたちはアーレの活動を通して身につけた協調性や仲間への思いやり、絆など、いろんな成長を活かして、サッカーのみならず様々なことにチャレンジして、沢山の経験を積んでほしいと思っています。
　そして、立派なオトナになって欲しいと願っています。

　卒団していった子たちの中には、街で会ったときにコーチたちへ声をかけてくれる子がいます。とても嬉しいことです。
　みんなも、卒団したから「アーレとはもうおさらば」といった気持ちではなく、いつまでもアーレの仲間として、あいさつをしてくれたり、気軽に声をかけて欲しいと思います。
　いつまでもアーレを忘れないでくださいね。

　最後に、親への感謝も忘れないください。
　これからもずっと君たちのことを一番近くで見守ってくれている存在です。
　親は、君たちが何かに本気になって努力し、一生懸命に取り組んでいる姿を見ることが一番嬉しいです。
　その姿を見せてあげることが一番の親孝行だと思います。
　コーチがいつも言ってきた「やり切る」気持ちで、これからも目標を持ち、本気になって努力し、一生懸命に取り組んで欲しいと思います。

　最後に、保護者の皆様、本日は朝早くからご参加をいただきありがとうございました。
　本日は VivaKids スポーツクラブ　FC アーレのご卒団、おめでとうございます。

　保護者様にはいろいろなことに感謝しておりますが、
　その中でも最後にひと言感謝の気持ちをお伝えしたと思います。
　それは、小学生年代ではいろんな習い事がありますが、
　その中から「サッカー」を選択し、そして郡山にはサッカーチームが数十チームと多くある中、「FC アーレ」を選んでいただき、今日まで続けてきていただいたことです。
　そして、私たちと共に FC アーレの活動にご理解とご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

　今回もお子様がアーレで活動してきた思い出のシーンを集めて、卒団の記念映像を作りましたので、ご覧いただければと思います。
　懐かしい思い出から最近の活躍までを振り返り、この映像を親子で昔を思い出すツールとして、大切にしていただければ幸いです。

コーチ：設楽

FCAllez卒団式
おめでとう
FCAllez
FUKUSHIMA KORIYAMA